

名古屋外国語大学 数理・データサイエンス教育プログラム(リテラシーレベル)

名古屋外国語大学 数理・データサイエンス教育プログラムに係る自己点検・評価の概要(2022年度)

1. 点検・評価の実施

名古屋外国語大学メディア情報・データ科学センター データ科学教育研究部門が主体となり、2022年度における「数理・データサイエンス教育プログラム」を構成する授業科目について点検・評価をおこなった。

2. 点検・評価の対象

当該プログラムを構成する5科目「情報リテラシー」「データサイエンスA」、「ICT活用演習」、「プログラミング言語」「AI・データサイエンス入門」について、点検・評価をおこなった。

3. 点検・評価の根拠資料

- ・ 上記科目を対象とする「数理・データサイエンス教育プログラム (MDS) 関係科目授業評価アンケート2022年度1期」
「数理・データサイエンス教育プログラム (MDS) 関係科目授業評価アンケート2022年度2期」
- ・ 上記科目のシラバス、履修要項
- ・ 上記科目の履修状況に関するデータ

4. 自己点検・評価の結果の総括

後述の4つの視点から自己点検・評価を実施した。2022年度から必修科目を一部変更するとともに、選択科目を追加した。そのことにより、学生は1年次前期から当該プログラムの履修機会が得られるようになった。結果として、プログラムの履修者数および履修率は高い水準にある。アンケート調査から学生の満足度および理解度は総じて高い。前回の自己点検・評価において検討した「推奨度」をアンケートの質問項目に追加することにより、学生による授業評価をより適切に把握できるようになった。今後も現状把握をおこなうとともに、改善が欠かせない。

名古屋外国語大学 数理・データサイエンス教育プログラム(リテラシーレベル)

《点検・評価結果の概要》

1. 教育プログラムの履修・修了状況・学習成果の把握・改善

2022年度から必修科目を一部変更したが、1年次前期から当該プログラムの履修機会が得られるようになり、プログラムの履修者数および履修率は高い水準にある。

2. 学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度・後輩等他の学生への推奨度の把握・改善

「情報リテラシー」、「データサイエンスA」、「ICT活用演習」、「プログラミング言語」「AI・データサイエンス入門」のアンケート結果の概要は表のとおりである。

いずれの項目も高い水準であることが確認できる。特に「この授業には、真剣な態度で受講した」および「教員は授業に熱意を持って取り組んでいた」の質問項目の平均値が高いことから、学生および授業担当教員が熱心に取り組んだことが確認できる。一方で、「この授業に関して予習、復習などを積極的に行なった」および「授業の進み具合はどうだったか」の質問項目は平均点が低く、来年度以降にはより適切な予習・復習の指導をおこなうとともに、学生の理解度をより考慮した授業進行が望まれるだろう。

アンケート項目	平均値
この授業は、全体として満足であった	3.71
この授業には、休まず出席していた。	4.22
この授業には、真剣な態度で受講した	4.05
この授業に関して予習、復習などを積極的に行なった	3.06
教員はわかり易く説明していた	3.83
教員は授業に熱意を持って取り組んでいた	3.99
この授業に大変興味を持てた。	3.44
授業の進み具合はどうだったか	2.77
授業のレベルはどうだったか	3.30
SA等による授業補助は十分であった	3.87

* 最高点が5点、最低点1点

3. 全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況

2022年度におけるプログラム構成科目の変更および追加により、2023年度はより発展的な科目の履修が期待されるとともに、これまで以上に多くの履修が見込まれる。

4. 教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価・産業界からの視点による教育プログラム内容・手法等への意見

就職活動に取り組む学生へのアンケートを実施するとともに、「AI・データサイエンス入門」を担当する企業のデータサイエンティストからプログラム全体への意見を聴取し、改善に役立てる。